

## 第5学年 国語科学習指導案

児童 3組 男16名 女12名 計28名  
指導者 加藤 佐知子

1 単元名 説明の仕方について考えよう「天気を予想する」(光村図書5年)

2 単元について

(1) 目標

筆者が伝えたいこと、論の進め方、図表などの活用について感想を発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

(2) 指導にあたって

情報があふれている時代を生きる子どもたちには、情報に振り回されることなく内容を的確に判断し活用していく力が求められる。文章の内容を叙述に従って正確に読み取る力は、内容を判断し活用する上で必要な力であるが、それに留まらず、筆者の表現の工夫を吟味したり、取り上げられている資料の効果や妥当性を考えたりすることで、判断し活用していく力はさらに伸びるであろうと考え、この単元を設定した。また、次単元として、資料の効果を意識して意見文を書く学習を設定することにより、本単元で得たことを自分の力として生かしていけるようにした。本単元の中心教材「天気を予報する」は、伝えたいことをわかりやすく伝えようとする工夫に富んでおり、資料の効果を考える際に適切な教材であるとともに、資料を活用して意見をまとめていく際に、大きな支援となりうる教材であると考えた。

児童はこれまで「筆者の考えをとらえ、自分の考えを発表しよう」で、筆者の表現の工夫を読み取ること、要旨をまとめそれについての自分の考えを表現することを学習してきた。しかし、文章の書かれ方について目を向けるのは、本単元が2度目であり、そのような読み方におもしろさを感じる反面、難しさも感じている面もある。また、書かれていることを根拠として自分の考えを持つ学習や、考えを伝えあう事によって読みを深める学習には、意欲的に取り組む児童が多いものの、難しさを感じている児童も少なくない。

指導にあたっては、第1次・第2次では筆者が伝えたいことを読み取ることを大切にしながら、表現の工夫の仕方にも気付かせていくと共に、気付いたことを友達と伝えあうことで自分が気付かなかった事にも着目できるようにしていく。筆者の工夫については「どのような効果があるか。」「この工夫についてどう思うか。」という視点から表現の妥当性を考えさせたい。また第3次で筆者の考えに対する自分の考えをまとめることができるように、確実に要旨を捉えさせたい。第4次では新聞・広告・書籍での資料の活用のされ方や効果を再認識させることで、次の単元である意見文をまとめる学習へとつなげていく。

(3) 指導計画(7時間)

第1次 単元の学習課題を設定し、見通しを持つ。(1時間)

第2次 構成の工夫に着目しながら三つの問いと答えを読み取る。(1時間)

説明のしかたの工夫と、その効果を考えながら内容を詳しく読み取る(2時間) 本時は1/2

第3次 筆者が伝えなかったことについてかきまとめ、それに対する自分の考えを発表する。(2時間)

第4次 図・表・グラフ・写真が使われた文章を探し、説明の効果についてまとめる。(1時間)

(4) 評価規準

○ 題材・考え・文章の書かれ方に興味をもって読んでいる。(関・意・態)

○ 筆者の説明の工夫や例・理由や根拠としてあげている事実を読み取っている。(読む)

○ 筆者の主張を自分なりに評価する観点を持ち筆者の主張についての意見を表している。(読む)

3 本時の指導

(1) 目標

○ 筆者が挙げる事実やその根拠となる表・数値・グラフの意図と効果に着目し、筆者の説明のしかたの工夫を読み取るができる。

(2) 研究の視点に関わっての工夫

◎視点1—筆者の説明の工夫について、表・図・数値の効果に注目して書くことにより自分の考えを持たせたい。

◎視点2—友達の気付いた説明の工夫について学び合うことにより、自分が気付かなかった説明の工夫について読み取らせたい。

(3) 展 開

	学習内容と活動	活動への支援（・）評価（◆）・視点（◎）
つ か む  5	<p>1 前時学習したことを想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの問いとその答えを確認する。</li> <li>・説明の仕方に筆者の工夫があったことを想起する。</li> </ul> <p>2 課題をつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>伝えたいことをわかってもらうために、筆者はどのような工夫をしているだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時につくった文章構成図から、3つの問いの内容を確認すると共に、段落の一文目を主文とする筆者の工夫について想起させる。</li> </ul>
自 分 の 考 え を 持 つ  15	<p>3 見通しを持つ</p> <p>(1)表・数値・写真などの使用も説明の仕方の工夫であることを予想する。</p> <p>(2)①から③を音読し、本時の学習内容を確認する</p> <p>(3)段落①で伝えたいことが何かを確認し、表や数値を用いる効果を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数値や表を見ると的中率があがっていることが事実だと言うことがよくわかる。</li> </ul> <p>(4)説明の工夫とその効果をノートに書く。</p> <p>4 自力解決する</p> <p>(1)②③の段落で筆者が伝えたいことを確認する。</p> <p>(2)数値・写真・図のどれかを選び、どのような効果があるかを考え、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数値…約1300カ所 全国20カ所 世界900カ国 赤道上空3万6千km</li> <li>・写真…気象レーダー アメダスの観測装置 静止気象衛星</li> <li>・図…天気予想図</li> </ul> <p>(3)自分が選んだ工夫の効果をノートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表や数値・写真に児童の目が向かないときは、「生き物は円柱形」の1ページ目を提示し、数値や表・写真が多用されていることに気付かせる。</li> <li>・数値を抜いた①の文章と数値を入れた文章を比較させ、数値や表がある場合とない場合ではどんな違いがあるかを考えさせ、効果に気付かせる。</li> <li>・ノートの記入の仕方を示し、自力解決につなげる。</li> </ul> <p>◎効果についてまとめられない児童には、それがあある場合とない場合ではどんなちがいがあるかを考えさせ、自分の考えを書くことができるようにする。 (視点1)</p> <p>◆自分が選んだ筆者の工夫について、自分なりの考えをもつことができる。(ノート)</p>
学 び 合 う  20	<p>5 みんなで学び合う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見つけた工夫とその効果について学び合う。</li> </ul> <p>6 学び合いからわかったことをまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数値…どのくらいなのかがはっきりとわかる。</li> <li>・表…事実だということがわかる。</li> <li>・写真…文章だけではわからない物の様子や形が見てわかる。</li> <li>・図…言葉の意味が一目でわかる。</li> </ul>	<p>◎気付いた説明の工夫について学び合うことで、自分では気付かなかった説明の工夫を読み取らせる。 (視点2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学び合いの結果をわかりやすく板書することで、それぞれの効果を捉えやすくする。</li> </ul> <p>◆説明の工夫とその効果についてまとめることができる。(ノート)</p>
振 り 返 る  5	<p>7 学習を振り返る</p> <p>8 次時の学習を確認する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習について振り返り、自己評価をする。</li> <li>・次時は筆者の伝えなかった事をまとめ、自分の考えを持つことを告げる。</li> </ul>